

新潟医療福祉大学

新潟医療福祉大学では、医療・福祉における「優れたQOLサポーター」に求められる資質や能力を、アドミッション・ポリシーに基づき多面的・総合的に評価してきた。2023年度入学者選抜でも引き続き、専門職をめざす受験生が最大限に力を発揮できるよう、多様な選抜方式を用意する。

総合型選抜では、4つの力を

重視・評価する多彩な試験を実施

総合型選抜は、「A方式(主体性重視型)」「B方式(基礎教養重視型)」「C方式(スポーツ重視型)」「D方式(基礎学力重視型)」の4つの選抜を展開。学力の3要素に合致する、時代にあった多様な選抜区分でさまざまな能力を持つ学生を募集する。

A方式とB方式は、入試改革に先駆けて2020年度より導入した選抜方式だ。主体性重視型と謳うA方式では、2度の面接試験を中心に評価し、筆記試験、面接課題などを含めて多面的・総合的に評価している。一方の基礎教養重視型を謳うB方式は、筆記試験を中心に評価し、加えて面接試験を課している。A方式とB方式は同時出願可能だ。

また、D方式については学科ごとのアドミッション・ポリシーに基づいた筆記試験(全問マークシート方式)を実施する予定。全方式で合否判定に「調査書」「志願理由書」「活動実績等報告書」等の出願書類を活用する。

学校推薦型選抜は従来の公募推薦・

指定校推薦を踏襲して実施

「公募制」と「指定校制」の2通りの学校推薦型選抜を実施する。どちらも「調査書」「志願理由書」「活動実績等報告書」等の出願書類を合否判定に活用する予定だ。なお、「公募制」では面接試験のほか小論文試験を課す。

一般選抜はすべての問題で

マークシート方式を採用

「一般選抜」はすべての問題でマークシート方式を採用する。従来どおり3科目の総得点によって合否を判定する形式だ。試験内容についても、出題範囲等の大幅な変更はない。前日程は、2日間の選抜試験日を両日受験することで最大4学科まで出願が可能。

「大学入学共通テスト利用選抜」は、従来どおり大学独自の個別学力検査等は課さず、大学入学共通テストの成績のみで評価する。試験科目は必須科目と選択科目がある。選択科目は、高得点の科目を採用する。複数の学科へ出願する学内併願が可能なおに、一般選抜との同時出願もできる。

「一般選抜」「大学入学共通テスト利用選抜」とともに「調査書」等の出願書類の提出を課すが、得点化せず参考資料としての活用にとどめる。

全14学科で特待生を採用

最大4年間の授業料全額免除

「一般選抜(前期日程)」および「特待生選抜試験」の受験者を対象に、特待生を70名程度採用。A特待生は4年間の授業料が全額免除、B特待生は1年次の授業料が全額免除となる。また、A特待生は各学科の得点上位者を採用するので、すべての受験生にチャンスがある。なお、一般選抜(前期日程)は、新潟、東京、郡山、高崎、長野、鶴岡、富山、仙台で、特待生選抜試験は新潟、東京で受験することができる。

INFORMATION

【公式アプリ】

受験生を応援する機能を搭載した「公式アプリ」が誕生しました。いつでもどこでも新着情報のチェックやキャンパスガイド、入試ガイドなど各種データがご覧いただけます。



【WEBオープンキャンパス】

6/11・12
SAT SUN
7/9・10
SAT SUN
8/6~14
SAT SUN



大学事務局 次長
中原 英伸

期待する受験生像

医療や福祉の現場では、医師や看護師の他さまざまな専門職が必要とされ、「チーム医療」の重要性が叫ばれています。特にコロナ禍での専門職間の連携はより重要視され、そのため、社会ニーズに応えられる人材輩出が、大学には求められています。医療系大学の受験を考えるみなさんには、「自己」「アドミッション・ポリシー」「大学の学び」「職業」の4つについて理解を深めてもらいたいと思います。それらの理解を深めることで、大学選びや職業選択のミスマッチがなくなります。新潟医療福祉大学はみなさんを応援しています。



スポーツ科学・リハビリテーション科学など研究実績を年々積み重ねている。文部科学省の科研費採択件数は地方私大トップ。



充実した施設とカギ付き完全個室の居住空間が快適な「N-Village 伍桃」

ワンキャンパスで6学部14学科が学ぶ「連携教育」を展開。「一人ひとりのQOL*の向上」をサポートする人材育成に力を注ぐ。

* QOL = Quality of Life

アロー総研のフカボリ①

「チーム医療・ケア」を実践的に学べる「連携教育」

多職種間連携に必要な知識・技術を全学科共通で学ぶコアカリキュラムを設定し、学科の枠を超えて学ぶ「連携教育科目」を設置している新潟医療福祉大学。ここでは、現代医療において最もニーズの高い「チーム医療・ケア」を実践的に学ぶことができる。

「将来“チームの一員”として活躍するために求められる関連職種への理解やチームワーク技法を修得するため、ワンキャンパスで6学部14学科が共に学ぶことをめざすのが『連携教育』。1年次にはチーム医療・ケアの基礎を理解し、2年次には各学科の学生がチームを形成することで“チームワーク”を実感してもらいます。3年次には、医療現場や福祉現場などそれぞれの現場で行われる専門職の連携について、現場の声や具体的な事例を通じて学習。そして3年次後期・4年次前期に開講される『連携総合ゼミ』にて、学科が混成した一つのチームで具体的な症例をもとにグループワークを通じて支援策を検討します。チーム医療の重要性や連携教育の内容についての解説動画をWEBオープンキャンパスで公開しているので、ぜひ一度ご参加ください」(中原大学事務局次長)

アロー総研のフカボリ③

東京をはじめとした首都圏からの求人数多

「資格試験に強い大学」「就職に強い大学」として確立した実力を誇る新潟医療福祉大学では、学生生活の相談や学習指導、資格取得や就職活動の支援などをワンストップで提供する「学生サポートステーション」などで徹底した支援体制を構築している。現代社会のニーズに応える「優れたQOLサポーター」を輩出し、卒業生はその専門性を活かして保健・医療・福祉・スポーツのあらゆる分野で活躍している。そうした実績もあり、2020年度は、求人数も20,000人以上で推移。首都圏からの求人状況は、就職希望者数265人に対して求人数は9,517人と、学生一人あたりに約35.9人の求人があった。そのほかのエリアからの求人も多く、地元へ戻ったり、新潟や新天地で就職をするなど、可能性が大きく広がってきている。

アロー総研のフカボリ②

科研費採択件数で全国第4位に!

理系・医療系の進学先選びでは、「教育力」だけでなく、「研究力」も極めて重要な要素となる。優れた研究を国が支援する科学研究費(科研費)の採択件数などが研究力を示す指標となるだろう。

2022年1月に文部科学省が発表した「2021年度科学研究費採択件数(過去4年間の新規採択の累計数)」において、「スポーツ科学、体育、健康科学、およびその関連分野(リハビリテーション科学を含む)」で、新潟医療福祉大学が全国第4位となった。トップ10のうち、地方の私立大学は同大のみという快挙を成し遂げている。

順位	機関種別名	機関名	新規採択累計数(件)	配分額(直接経費)(千円)	応募件数累計数(件)
1	国立大学	筑波大学	142.0	332,900	438.0
2	私立大学	順天堂大学	114.0	207,100	280.0
3	国立大学	東京大学	94.0	279,900	180.0
4	私立大学	早稲田大学	79.0	186,800	187.0
4	私立大学	新潟医療福祉大学	79.0	175,400	205.0
6	国立大学	京都大学	61.0	181,600	114.0
7	国立大学	東北大学	58.0	134,900	129.0
8	国立大学	名古屋大学	54.0	146,000	119.0
8	国立大学	広島大学	54.0	99,600	153.0
10	国立大学	大阪大学	51.0	136,600	117.0

東洋医学の高い医療技術を有し、チーム医療の一員として活躍するはり師・きゅう師を養成! 『鍼灸健康学科』を新設

2023年4月、新潟医療福祉大学に新たに鍼灸健康学科が開設される予定だ。鍼灸は世界トップクラスの大学や医療機関でも研究が進められており、今や世界的にも注目され、ニーズが拡大している医学である。医療鍼灸、健康鍼灸、スポーツ鍼灸、レディース鍼灸、健美(美容)鍼灸、漢方と、6つの領域に強い鍼灸師を養成する。新潟医療福祉大学の最大の特色でもあるチーム医療を取り入れながら、他職種との幅広い連携教育のもと、次代を支えるはり師・きゅう師を初め、スポーツや美容の分野でも活躍できる人材を育成する。

卒業後の進路としては、病院等医療機関、鍼灸院、鍼灸整骨院、スポーツ関連施設、美容鍼灸サロン、社会福祉施設や、独立開業も期待できる。鍼灸健康学科の詳細は特設サイト参照。

